

11 - 2 タジキスタン共和国の地震

Republic of Tajikistan Earthquake in 2015

国土地理院

Geospatial Information Authority of Japan

[タジキスタン共和国の地震 合成開口レーダー (SAR)]

第1図は、2015年12月7日にタジキスタン共和国で発生したMw7.2(USGS)の地震について、「だいち2号」(ALOS-2) PALSAR-2データの干渉解析を行った結果である。

西南西上空からの高分解能モード(図A)および東南東上空からの広域観測モード(図B)の干渉解析結果が得られた。

変動の大きな地域は、震央から北東方向に伸びており、40 km以上に及んでいる。得られた地殻変動の分布の特徴から、北東-南西走向の左横ずれ断層運動が生じたと考えられる。震央に近い領域では干渉性が低くなっており、地殻変動が大きいことや、地震による揺れで生じた斜面崩壊、積雪などの影響を受けている可能性がある。一部地域では変位の不連続が見られ、地表に断層が現れた可能性がある。

2015年12月7日タジキスタン共和国の地震に関する 合成開口レーダー解析結果

2015年12月7日7:50（日本時間）にタジキスタン共和国で発生した地震（Mw7.2, USGS）について、だいち2号のデータの解析を行った。得られた結果は以下のとおりである。

1. 変動の大きな地域は、震央から北東方向に伸びており、40km以上に及ぶ。
2. 変動のパターンから、北東-南西走向の左横ずれ断層運動が生じたと考えられる。
3. 震央に近い変動域の中心は干渉性が低くなっている。震央に近いために地殻変動が大きいことや、地震による大きな揺れで生じた斜面崩壊の影響、積雪の影響を受けている等の可能性がある。
4. 一部地域では変位の不連続が見られ、地表に断層が現れた可能性がある。

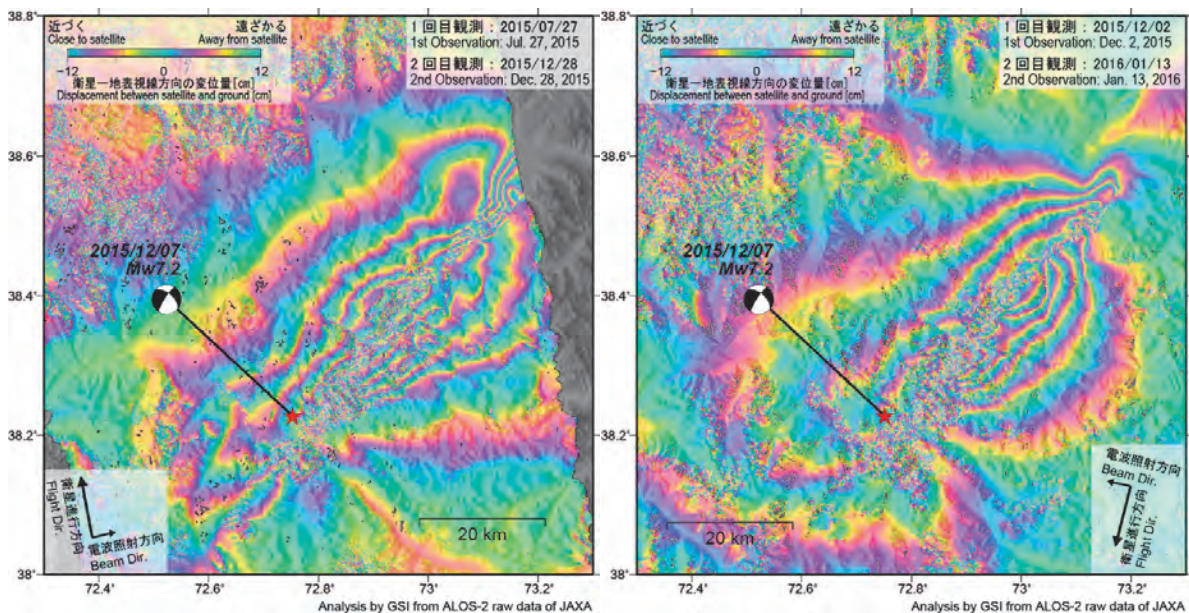


図 A

図 B

図	観測日	観測時間 (UTC)	衛星 進行方向	電波 照射方向	観測モード	入射角 (震央)	垂直基線長
A	2015/07/27 2015/12/28	19:02 頃	北行	右	高分解能(10m) 高分解能(10m)	37°	+12m
B	2015/12/02 2016/01/13	07:13 頃	南行	右	広域観測(Normal) 広域観測(Normal)	38°	-137m

※震源位置 38.227°N, 72.752°E 深さ 33.0 km (USGS)

本成果は、地震予知連絡会 SAR 解析ワーキンググループの活動を通して得られたものである。

第1図 2015年12月7日タジキスタン共和国の地震に関する合成開口レーダー解析結果

Fig. 1 Synthetic Aperture Radar (SAR) interferogram of Republic of Tajikistan earthquake on December 7, 2015.